

# 令和6年度 沼津市立大平中学校いじめ防止基本方針

【相談窓口】大平中学校 055-931-5021 校長 教頭 生徒指導主任

【いじめ防止対策校内委員会：校長・教頭・生徒指導主事・学年主任・個別支援主任・養護教諭・生徒指導部員・スクールカウンセラー】

「いじめ防止対策委員会」の設置と学校としての取り組み

## いじめを起こさないための日常の取り組み

## いじめを早期発見するための取り組み

全生徒が安心・安全に学校生活を送れるよう  
いじめ未然防止のための日常の取り組み

### 1 学ぶって、楽しい、もっと知りたい!

- ①魅力ある授業  
～自分事として学ぶ～
- ②志ある人づくり  
～変わりゆく社会の中で夢の実現&社会貢献を～
- ③地域に感謝し、地域を愛する心  
～大平 SDGs ～
- ④保護者に向けた情報発信  
～保護者とともに・・・～

### 2 とともにきらめく!全員笑顔の学校

- ①生徒主体で考える学校  
全員笑顔を目指すことで豊かな心を育む  
笑顔の学校検討委員会
- ②自他を尊重し、自分らしく生きる  
4つのこころを育てるための支援  
「～どの子も真ん中に～」という視点
- ③きらめく私たちのいのちって大事  
自他の命を守り、健康に生きるための実践力を  
培う  
「よりよく生きる」を一本軸とした取り組み

### 3 とともにきらめく!ための場づくり

- ～コンセプト(目的)、目標を持った活動・行事～
- ・対話、協働
- ・ステージ制の生徒会活動
- ・新しいことにチャレンジ

### 4 学び続ける教師集団

- 学び手の視点での「意思ある学び」の授業づくり  
「学ぶって楽しい!」「学びのセルフマネジメント」
- ・単元ごとのまとまりの中で、  
他教科・領域に結びつく授業づくり
- ・計画を立て、振り返り、調整するセルフマネジメントの研究

### 5 チーム大平

連携・協働 ～地域総がかり～

- 【幼保小中】
- ・職員(幼保小中連絡協議会・合同研修会等)
- ・子ども(幼稚園クリスマス会等、各種行事)

【地域】

- ・大平コミ(防災訓練・青田刈り・お飾り作り・フェスタ大平・元旦歩こう会等)
- PTA・大平地区すべての皆様



### いじめの訴え、いじめに関する情報、いじめと思われる状況の察知

- 日常における生徒の兆候を把握する。(全教職員)
- 養護教諭やスクールカウンセラーなどの専門性
- 授業の様子など情報交換を積極的に行う。

### 管理職などへの報告、事実確認などの対応の決定

- いじめの判断は、1人でしない。  
(学年主任、個別支援主任、生徒指導主事などへの報告・協議)
- 管理職へ迅速に報告し、初期対応の方向を決定する。
- 情報の提供者への配慮

### 関係生徒からの事実確認

- 複数の教員で対応し、個別に話を聞く。
- 傾聴に心がけ、共感的に聞くと共に事実を確実に確かむ。

### 「いじめ対策委員会」において対応方針の決定

- いじめた子、いじめられた子に対する具体的な対応や指導の  
流れを検討する。
- 学級担任1人に任せることなく、役割分担を明確にする。
- 決定した対応方針を職員間で共通理解する。  
※報告・連絡・相談カードにおいて共通理解を図る。
- 情報を公開し全職員で情報共有し事実を認識する。

### 他の生徒への指導

- 新たないじめを防止するための指導を行う。
- 傍観者やまわりにはいた子もいじめを助長していることを知らせる。

### いじめられた生徒 その保護者への援助

- 保護者からの訴えや相談には、親身になって  
応じる。(臆れがけ)
- 解決に向けて保護者と  
共に支援する体制を  
作る。
- カウンセリングなどの  
支援を行う。

### 関係機関との連携

- 市教育委員会、警察、少年  
サポートセンターなど連携  
協力を図る。

### いじめた生徒 その保護者への指導・対応

- 行った行為について、許  
されないことであることを  
自覚させ、謝罪方法など  
を一緒に考える。
- いじめを繰り返さないた  
めにいじめの背景にあつ  
た状況について一緒に考  
える。

### 継続指導 指導の見直し

## いじめの解消

いじめを早期発見するための取り組み

### 1 共感的な人間関係の醸成

- ①生徒の個性を尊重し、相手の立場に立ったあたたかな指導を行う。
- ②日頃からの生徒1人1人のふれあいを大切にし、変化を見逃さない。
- ③あたたかな雰囲気の中で、だれにでも何でも言い合える人間関係づくり(自治力を育む)

### 2 校内連携体制の充実

- ①学級担任や養護教諭は、小さなサインも見逃さないよう、きめ細かな情報交換を行う。  
(例)・1人1人の顔を見て健康観察を行う。  
・生徒との日常の会話を大切にする。
- ② SC や支援員の役割を明確にし、協力体制を整える。
- ③毎週、個別支援会議を開き全職員で情報をとらえる。

### 3 アンケート調査の実施や保護者との連携

- ①生活についてのアンケートを毎月ごとに行い、必要に応じて教育相談を行う。
- ②保護者との連絡を密に取り、いじめを見抜き早期に対応する。  
教育相談・三者面談の実施
- ③学校評価アンケート実施  
→来年度につなげる検証を行う。
- ①大平コミュニティとの連携

### 4 地域・幼稚園、小学校との連携

- ②大平幼小との連携  
授業参観の実施

### 重大事態への対応

<重大事態とは>

- ・生命、心身、財産に重大な被害が生じた疑いがある場合
- ・相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがある場合

<発生時の対応>

- 速やかに教育委員会に報告する
- いじめ対策委員会を中心に事実関係を調査し、関係機関と連携して適切な対応を行う。
- いじめを受けた生徒の保護者に対し、情報を適切に提供する。

学校評価アンケート保護者・教職員の実施  
アンケートによる検証を行う。